

## 京都市下水道事業におけるアセットマネジメント手法の導入 に関する調査研究

調査研究年度

2008 年度

適正なストック管理

**(目 的)**

本業務は、経営健全化とアカウンタビリティ確保を前提とし、適切な資産の管理・運用による京都市下水道マスタープランの実現に向け、戦略的な下水道事業運営計画を策定するためのアセットマネジメント手法の導入方策について検討するものである。

**(結 果)**

昨年度までは、総合的事業評価を目的とした長期経営シミュレーションシステムの作成と、シミュレーション精度向上のためのシステム改良に関する検討を行ってきた。

本年度は、シミュレーション精度及び使用性の向上を目的として長期経営シミュレーションシステムの改良を行った。また、新規投資計画策定等への利活用方策の検討及び今後のアセットマネジメントの進め方に関する検討を行った。

**(1) 京都市下水道事業の実態把握**

京都市から貸与された決算資料、施設台帳などを基に、下水道事業の収益的収支や支出の変遷、収支バランス、元利償還金の返済予定、現行の事業計画、下水道ストック形成状況（管渠・処理場・ポンプ場）など、下水道事業の実態を整理した。

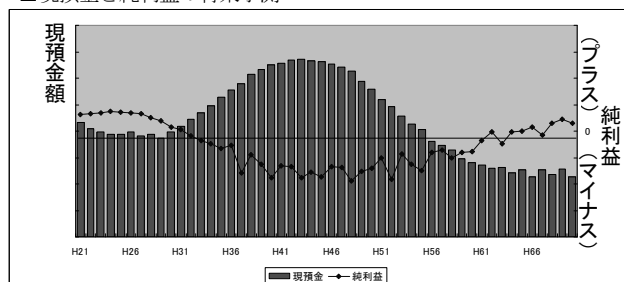
**(2) アセットマネジメント導入準備の検討**

アセットマネジメント導入の準備として、シミュレーションの精度向上を目的として、処理場維持管理費算出方法の検討、施設の耐用年数に関する検討、施設の長期投資予測の検討などを行った。

**(3) 長期経営シミュレーションシステムの改良とシミュレーションの実施**

平成 18 年度に作成した長期経営シミュレーションシステムに対して、最新情報へのデータ更新及び本年度の検討結果の導入を行うことにより、システムの改良を行った。また、改良したシステムを用いてシミュレーションを実施し、投資計画等に関する評価及び考察を行った。

■ 現預金と純利益の将来予測



■ 元利償還金の予測

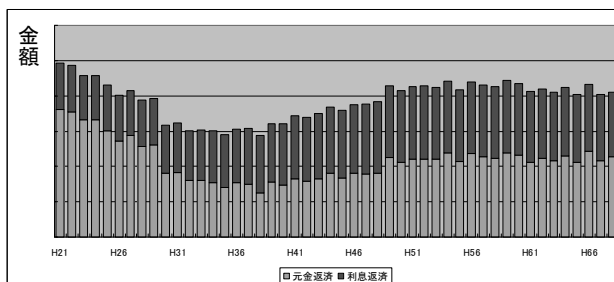


図-1 シミュレーション結果例

**(今後の検討)**

本年度までのマクロマネジメント（経営の健全化や戦略的事業計画）の成果を実際に運用していく中で継続的に改善を進めていくながら、今後はミクロマネジメント（個別施設の効果的・効率的な維持管理）の検討を本格的に進めていく必要がある。

また、京都市が目指すNPM（ニューパブリックマネジメント）型アセットマネジメントの実現へ向けて、マクロ及びミクロマネジメント結果の相互反映を効果的に行っていくための方策についても、検討を進めていく必要がある。

京都市からの受託研究

問い合わせ先：研究第一部 森田 弘昭，田嶋 淳，鈴木 利幸 【03-5228-6597】

キーワード

アセットマネジメント，下水道事業，維持管理，事業計画